



鏡開きを行う小林会長（中央）ら

共助の精神で 活動の充実推進

富士宮地区110人余で新年の集い

富士宮地区労働者福祉協議会（小林純一会長）の2016年第20回新年の集いが15日、富士宮市黒田のゲストハウスフォレスト・ヒルズで開かれた。役員、会員、来賓など110人余が出席して新春を祝い、親睦の輪を広げた。



新春を祝って乾杯

開会に当たってあいさつした小林会長は「一年間の取り組みを振り返り、「共に生き、共に助けるのが労福協の精神。今年も皆さんと一緒に、充実した活動を進めていきたい」と述べた。来賓として出

席した須藤秀忠市長は「景気の先行きは不透明で予断を許さないが、勤労者の福祉・生活の向上のために積極的な施策を展開していきたい」とし、市政への一層の理解・協力を呼び掛けた。その後は小林会長、須藤市長らによる鏡開きが行われ、出席者たちが食事や歓談、ゲーム、大抽選会などを通して交流を深めた。